

乳歯はムシ歯になりやすい

乳歯は、非常にムシ歯になりやすい環境にあります。こどもは気づかないことが多いので、保護者が気をつけてお口の観察をしてあげましょう。

こどものムシ歯の原因

- 乳歯は永久歯に比べてエナメル質が薄く(永久歯の約1/2)、軟らかい
- 自分では充分にみがけない
- 生え変わりの時など歯ならびが複雑でみがきにくい



ムシ歯はどうしてできるの？

ムシ歯の発生



※脱灰：歯からカルシウムが溶け出す

乳歯のムシ歯の特徴



- ムシ歯の進行が早い
- 歯と歯の間の見えにくいところで大きくなる
- 広い範囲に広がる

こどもの歯周病が増えています！

最近では、こどもの歯ぐきの病気(歯肉炎)が増えています。ていねいにブラッシングして歯垢を除去し、歯周病を予防しましょう。また、日頃から歯科医院で定期健診を受け、ムシ歯や歯周病を予防しましょう。

こどもの成長に合わせてお使いください

〔バトラーこどもハブラシ(スタンダードシリーズ)〕



〔バトラーこどもハブラシ(スペシャルタフトシリーズ)〕



〔プロクトこどもシリーズ〕



当医院の歯科医師・歯科衛生士にご相談ください。

SUNSTAR

こども編

こどもと一緒に歯を守る！

こどもの お口のケア



こども編

ORAL BOOK

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1
お客様相談室 ☎ 0120-008241

こどもの成長に合わせたケアのポイント

■仕上げ・点検みがきが大切です！！

保護者による仕上げ・点検みがきで大切なこどもの歯を守りましょう。



●上の前歯
上唇裏のスジを
ひっかかないように
ひとさしゆびで
ガードする

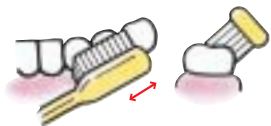


●奥歯
ひとさしゆびで
頬をふくらませる



- こどもをまっすぐに寝かせる (あぐらを組むと安定します)
- 歯をよく見て、確実にブラシをあてる (歯ぐき、舌などにブラシをあてないように)
- 広がったハブラシを使わない (歯垢をきれいに落とすことができないだけでなく、歯ぐきを傷つける)

≡〈ブラッシングの方法〉≡

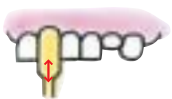


毛先を歯面にあて小さく
往復運動させてみがく



上下の歯を「イーツ」とかみ
合わせ、「まる」を連続して
かくようにみがく

●生えかけの歯の場合



ハブラシをたてにあててみがく



ハブラシを横から使う

※歯と歯の間には、フロスを併用するとより効果的です。

歯みがき嫌いにしないように…

仕上げ・点検みがきの時に痛い思いをさせてしまうと歯みがき嫌いになってしまいます。力を入れすぎないように気をつけましょう。また、上手にできた時は、最後に必ずほめてあげましょう。

■1～3歳 生えはじめ期

かわいい乳歯が顔を出してきます

赤ちゃんにもハブラシを。

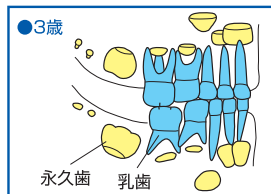
1歳前後になると、何でも口の中に入れようとする。ハブラシをおもちゃがわりに持たせて、お口に入れる練習をしましょう(必ず保護者がつき添ってください)。また、保護者が歯みがきをする姿を見せて興味を持たせましょう。



■3～6歳 乳歯列期

乳歯は、永久歯のナビゲーター

乳歯の下では永久歯ができてつあります。



ムシ歯になって歯が抜けたり、顎の発育が悪いと永久歯が生えてくるスペースが確保できないため、歯並びが悪くなってしまう。歯みがきと、しっかりかむ習慣をつけましょう。

ムシ歯になりやすいところ

歯と歯の間や、奥歯の溝などは、特に注意してみがきましょう。



●前歯



●奥歯



きちんとみがいたつもりでも、歯と歯の間や奥歯の溝の部分などハブラシの届きにくい部分には、みがき残しがよくあります。こどものムシ歯はあっという間に進んでしまいますので、注意してください。

■6～12歳 生え替わり期

永久歯が生えはじめます

乳歯と永久歯が生えかわるとても大切な時期。

5～6歳ごろに乳歯の一番奥から顔を見せるのが6歳臼歯(きゅうし)。これは歯並びや咬み合わせの基本となり、かむ力の一番強い大切な歯です。

6歳臼歯の特徴



●永久歯のなかで早く生えてくる歯



●歯ならびやかみ合わせの基本となる大切な歯



●永久歯のなかでいちばん大きく、ものをかむ力が最も強い歯



●完全に生えるまで1年から1年半もかかる



●とてもむし歯になりやすい歯



●この時期いちばん奥に生えている歯

6歳臼歯の1本みがき



●生えてくる途中は他の歯より低いため、ハブラシの毛がとどかないので、お口の横から1本みがきをしましょう

フッ素でムシ歯予防。

生えて間もない歯は、まだ歯の質が弱く、ムシ歯になりやすい状態です。ムシ歯予防の方法としてフッ素を歯科医院で塗ってもらうことができます。また、毎日のブラッシングにフッ素入りのハミガキ剤を使うのも効果があります。



フッ素入りハミガキ(こども用)